

「鳥取県生活排水処理施設整備構想」のパブリックコメントの実施結果について

平成24年 3月
鳥取県生活環境部水・大気環境課

1 パブリックコメント募集の内容

生活排水や事業所排水による水質汚濁を無くし、海、川、湖などの水をきれいにし、よりよい環境の実現を図るため、平成14年度に策定した「鳥取県生活排水処理施設整備構想」を見直し、平成23年度から今後10年間を見据えた生活排水処理施設の柔軟で効率的な整備を目指すため新たに策定する「鳥取県生活排水処理施設整備構想」について、県民の方からの意見を募集した。

2 意見の募集期間

平成24年2月22日（水）から平成24年3月7日（水）まで

3 応募のあった意見概要

(1) 意見の件数

意見件数：2件（1名） 回答方法：メール

(2) 主な意見と対応方針

意見の概要	対応方針
整備構想が、具体的にどのような考え方に基きどう整備するか示されていない。今後の市町村の整備計画を積み上げただけではいけないか。	新たな整備構想の策定にあたっては、県内各市町村が各種生活排水処理施設の特性や経済性、将来の維持管理等を総合的に勘案し、さらに地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備手法として選定された計画内容を聞き取るとともに、必要に応じて市町村に対しては技術的助言などを行って取りまとめたものであり、このことは構想の前文にも記載したとおりです。
目標達成のためにクリアすべき課題を挙げ、その課題をどのような手段で解決していくのか、数値目標を示し、そのためには財政的にどのくらい影響があり、県民にどんな負担が生じるか、具体的に示さなければならないのではないか。	整備構想の具体的計画を進める上での課題については、接続の推進や既存処理施設の高度処理化、さらには汚泥等の有効利用、効率的な維持管理の実施などを掲げ、これらの課題解決に県、市町村が一緒に取り組むこととする旨、記載しています。 なお、当整備構想に盛り込んでいる具体的な整備計画については、市町村の方から必要な協力内容や経済的負担内容などを、適宜受益者に対して説明が実施済み或いは今後実施されるものと考えています。